

価値創造プロセス

川崎重工グループは、コーポレートトランスフォーメーションにより、長い歴史の中で蓄積された多種多様な価値や高度な技術力などの経営資本を新たな社会課題・マーケットにシフトさせ、革新的なソリューションを提供し続けることにより新たな社会価値を創出し、持続的な企業価値向上を実現します。

社会課題

- リモート社会
- 人口減少・少子高齢化
- パンデミック・災害
- 地球環境
- エネルギー

外部環境

- 地政学リスクの高まり
- AIの進展
- 電力需要の増加
- 頻発する自然災害
- 為替・関税

インプット(経営資源)

(2025年度)

財務資本

投下資本
1兆3,031億円

長期借入金に占める
サステナブル
ファイナンスの
割合
41.5%

製造資本

設備投資額 1,433億円

知的資本

研究開発費 568億円

特許保有件数
国内: 3,238件
海外保有: 4,733件

人的資本

従業員
関連費用※1 1,890億円

女性・外国人・キャリア採用者の
部長級以上への
登用率 9.5%

社会／関係資本

サプライヤー
調達アンケート
回答件数 95社

IRミーティング実施件数
549件

自然資本

非再生可能エネルギー使用量
1,397,826 MWh

取水量 6.889百万m³

※1 給与・賞与および福利厚生費の合計

価値創造に向けて
活用していく、
強みとなる経営資本

組織資本

- 130年にわたり培われてきた多様な製品・サービス技術やノウハウ
- 時代ごとの社会課題に応えるソリューションを常に創造してきた挑戦のDNA

人的資本

- より高い目標にチャレンジし、覚悟とスピード感を持って取り組む人財
- 誰もが個人の強みを発揮しながら活躍することができる組織風土

関係資本

- お客様に密着し、高度なすり合わせ技術を駆使して独自のソリューションを提供することにより得てきた信頼

経営戦略・事業活動

経営資本を
新たな
社会課題・
マーケットに
シフト

探索の強化による
価値創造

- 航空宇宙システム
- 車両
- エネルギーソリューション&マリン
- 精密機械・ロボット
- パワースポーツ&エンジン

社外との
協業による
イノベーション

事業活動を支える基盤(マテリアリティ)

3つの
注カフィールド
において
シナジーを発揮

スキル・
リソースの
マッチング

共創の
仕組み・
仕掛け

ソリューション構築・
提供および
検証

アウトプット(事業活動の成果)

	2030年度目標	2025年度実績
売上収益	3.3兆円超	2.3兆円
事業利益率	2030年度までに10%超	6.3%
ROIC	資本コスト(WACC)+3%以上	9.0%

社会課題を解決する新規事業



	中長期目標	2025年度実績
「社員エンゲージメント(働きがい)」と「社員を活かす環境(働きやすさ)」が共に高い従業員割合	2030年度 50%超	36%
事業活動によるCO ₂ 排出量	2050年のバリューチェーン全体の ネットゼロ達成	Scope 1 13.8万t-CO ₂ Scope 2 30.2万t-CO ₂ ※2 Scope 3 合計 3,499.9万t-CO ₂ ※3

※2 マーケット基準

※3 Scope 3については、より正確な排出量とするため、近年、算定方法の変更や集計範囲の拡大を行っています。

アウトカム
(創出する社会価値)

安全安心リモート社会
安全安心の
新しい価値を創出

近未来モビリティ
新しい
輸送システムで
人とモノの移動を
変革

エネルギー・
環境ソリューション
クリーンエネルギー
の安定供給に向けて